

# ACTIVITY 開発のための教育『新しい惑星への旅』

目的 子どもたちに欲しいと思うものと必要なものとを区別できるようにする。  
人間として生きていくうえで最低限必要とされるものが権利である、という考え方を紹介する。  
用意するもの 紙とえんぴつ

## 教室でおこなうには

- 新しい惑星が発見された！  
子どもたちに紙とえんぴつを配り、これから最近発見された新しい惑星に行く予定であることを伝える。
- 持ちものリストを作ろう  
その惑星には空気と土はあるが、他に使える資源はないので地球から必要なものを持っていかなければならないことを説明する。子どもたちは2人1組になって、新しい惑星で生きてゆくために持っていくすべての品目(24品目以上)のリストを作る。右のようなイラスト入りカードを作ってもよい。「病気やケガをした時、治療してもらおうこと」というカードの例のように、物質的なモノ以外も含める。
- 4人グループになって  
各グループは他のグループとパートナーになって、それぞれのリストを比較検討し、4人で相談しながらリストを作る。
- 船長からの司令 その1  
宇宙船の荷物置き場のスペースがないため、各グループ(4人1組)のリストを24品目にしぼるよう、船長(先生)が伝える。この段階で除外された品目は1カ所にまとめておく。
- 船長からの司令 その2  
宇宙船の荷物置き場のスペースがまだ足りないため、各グループ(4人1組)のリストを12品目にしぼるよう、船長(先生)が伝える。この段階で除外された品目も別のところに

持ちものリスト(カード)の一例



まとめておく。

- 発表と話し合い  
各グループは自分たちが残した12品目を発表しあう。このとき次の点をよりくわしく発表する。  
各段階でより必要なものを除外するとき、グループでは全員の同意があったか。意見が分かれたときの理由とその決定のしかたはどんなようすであったか。  
欲しいと思うものと必要なものとの違いは何なのだろうか。必要なものは人によって違うのだろうか。

## やってみました このアクティビティ

大阪府立四条畷高等学校 家庭科 佐藤友紀教諭

高校の家庭科の授業で生活のために必要なものは何かを考えてみました。下記のワークシートをもとに、以下のように進めました。



- あなた自身が快適に生活する、もしくは豊かな人生を送るために必要なものをワークシートに書いてある項目以外に4つ挙げてください。
- 全項目の中からなくてもよい、と思うものを10項目選んで「1回目に捨てたもの」の欄に書き込んでください。
- さらになくてもよいものと思うものを10項目選んで「2回目に捨てたもの」の欄に書き込んでください。
- 残ったものを、生存する上で絶対必要なものと、なくても死なないが必要なものに分けてみましょう。
- あなたはなぜその項目を残したのですか？  
・グループ討論をさせる  
自分の意見で変わったものは？

ここで紹介したアクティビティは、ユニセフ発行の『わたしの権利みんなの権利』の中の「欲しいものと必要なもの」を高校生用にアレンジしたもので、上記の「新しい惑星への旅」と同じようなアクティビティです。

- ・1人ずつ発表  
残した理由、他の生徒からの質問など
- ・( )に挙げた項目について聞くなど

6. 感想、考察

## 授業をやってみて

授業中は嬉々として取り組んでおり、どうしても必要なものがいかにたくさんあるか、人によっていかに価値観が違うかを実感したようです。詰め込み形式の授業が多い中で、友人との討論の機会そのものを楽しんでいたようです。また、これらの権利やものが保障されていない状況もあるのだ、と考えが深まった例もあり、今回のように1時限(50分)だけでなく、もっと丁寧に多角的に考えさせるよう工夫すべきだ、と感じました。